

# ★敗戦直後の沖縄を、外部「本誌」から見つめる人びとの「機関紙」の復刻：

『沖縄新民報』は、'46年1月、九州各地に疎開していた沖縄出身者のための情報紙として、親泊政博によって福岡で創刊。『自由沖縄』は、'45年12月、沖縄人連盟の機関紙として、比嘉春潮を中心として、東京で創刊された。両紙は、沖縄が米軍占領下において、沖縄出身者の社会と完全に分断されている状況にあつて、九州への疎開者や外地からの引揚者と結ぶ唯一のパイプであつた。弊社では、既に復刻刊行した『うるま新報』と共に、戦後日本の沖縄人社会を知る資料として、あるいは、占領下の日本を見なおす資料として復刻する。——不二出版

# 沖縄新民報・自由沖縄

全2巻



●縮刷版概要—— B4判・上製本・総642頁・全2巻

●縮刷版内容—— 『沖縄新民報』第1～236号('46・1～'53・12)

『自由沖縄』第1～33号('45・12～'49・1)十九州版・関西版

●解説—— 新崎 盛暉 ●推薦—— 我部 政男

●刊行時期—— 2000年5月

●定価—— 全2巻・本体価格48,000円＋税



（第 1 號）

沖繩新民報 光太郎 社 政 次 郎 光 政 次 郎  
沖繩新民報 沖繩新聞社 沖繩新聞社 沖繩新聞社  
沖繩新民報 沖繩新聞社 沖繩新聞社 沖繩新聞社



沖繩新民報 光太郎 社 政 次 郎 光 政 次 郎

THE OKINAWA SHIM MIMPO

昭和21年1月25日 金曜日 (A)

社告  
本報は沖繩新民報の前身として、戦後初の新聞として発行された。...

沖繩新民報 光太郎 社 政 次 郎 光 政 次 郎

### 沖繩本島への帰還 当分許可せぬ

調査團派遣もマコ司令部から指令部へ  
北行政部長は、目下軍務打合せのため、帰還中の本島へ、調査團派遣も許可しない旨、マコ司令部から正式に指令が出た。

### 希望に燃えて家郷へ 先島へ第一船出港

先島へ第一船出港  
先島へ第一船出港。先島へ第一船出港。先島へ第一船出港。

### 本島から 復員第一船

本島から復員第一船  
本島から復員第一船。本島から復員第一船。

### 調査團派遣もマコ司令部から指令部へ

調査團派遣もマコ司令部から指令部へ  
調査團派遣もマコ司令部から指令部へ。調査團派遣もマコ司令部から指令部へ。

### 希望に燃えて家郷へ 先島へ第一船出港

希望に燃えて家郷へ  
先島へ第一船出港。希望に燃えて家郷へ。

### 本島から 復員第一船

本島から復員第一船  
本島から復員第一船。本島から復員第一船。

### 人の動き

人の動き  
人の動き。人の動き。

### 沖繩の歸還問題

沖繩の歸還問題  
沖繩の歸還問題。沖繩の歸還問題。

### 九州の慘状

九州の慘状  
九州の慘状。九州の慘状。

## 戦後初期の空白を埋める 『沖繩新民報』『自由沖繩』の復刻

我が部 政男  
日本国内の中で沖繩地域は、他の府県の地域に比べて比較的、国際政治の影響を受けやすい。

現代では沖繩の人々は、この歴史的な環境を複眼的に眺めてきた。一つは言うまでもなく、沖繩の歴史を固有の発展をとげてきた独自の個体として捉える方法、他の一つは、他律的な要素に支配される内的な状況の世界性に、常に注目してきている。

最近、歴史体験の新たな見直しとして、沖繩戦をどう捉え、展示するか、多くの人の関心が向けられてきた。日米両軍の凄惨な戦闘、その間隙にひしめく非戦闘員の翻弄の姿など、当然取り上げなければならない課題である。

戦後初期の空白を埋める。戦後初期の空白を埋める。戦後初期の空白を埋める。

本島在住の沖繩人は、相互に連絡を取り合い戦禍を被った郷里に思いを馳せた時期である。ハワイでも同様な行動が、沖繩系移民によって繰り返された。

（がく まさお・山梨学院大学大学院教授）

### 調査團派遣もマコ司令部から指令部へ

調査團派遣もマコ司令部から指令部へ  
調査團派遣もマコ司令部から指令部へ。

### 希望に燃えて家郷へ 先島へ第一船出港

希望に燃えて家郷へ  
先島へ第一船出港。希望に燃えて家郷へ。

### 本島から 復員第一船

本島から復員第一船  
本島から復員第一船。本島から復員第一船。

### 人の動き

人の動き  
人の動き。人の動き。

### 沖繩の歸還問題

沖繩の歸還問題  
沖繩の歸還問題。沖繩の歸還問題。

### 九州の慘状

九州の慘状  
九州の慘状。九州の慘状。

### 目を掩はしめる 九州の慘状 全沖繩人よ起ち上れ!!

目を掩はしめる九州の慘状  
全沖繩人よ起ち上れ!!

何とかならぬものが... 目を掩はしめる九州の慘状...

### 見よこの数字を 引揚者及生活状況一覽表

見よこの数字を  
引揚者及生活状況一覽表

見よこの数字を  
引揚者及生活状況一覽表

●「沖繩新民報」第1号(46・1・25)→

●「自由沖繩」第0号(46・5・5)→



# 沖縄新民報・自由沖縄【縮刷版】

全2巻

●縮刷版概要

B4判・上製本・総642頁・全2巻

●縮刷版内容



●原本提供

沖縄県立図書館・琉球大学図書館・新崎盛暉

●解説

新崎盛暉（沖縄大学教授）Ⅱ「廃墟のふるさとを想う人びとの機関紙」

●刊行時期

2000年5月

●定価

全2巻・本体価格48,000円＋税 ISBN4-8850-0319-5

●関連既刊図書

## うるま新報

【縮刷版】全6巻

'45年8月↓'51年9月

●縮刷版概要

B4判・上製本・函入・総1,944頁 【'99年4月～'09月配本完結】

●解説

新崎盛暉・丹野喜久子

●原本提供

沖縄県立図書館・沖縄県立博物館・琉球大学図書館・琉球新報社資料室

●定価

全6巻・本体価格1,000,000円＋税 ISBN4-938303-89-2

表示価格は、全て税別

## 不二出版

東京都文京区向丘一丁目二二  
TEL03-3813-8111  
FAX03-3813-8111  
振替001601194084